

薬連ハイライト

JPLフォーラム 開催される

平成31年2月11日(月、祝)、スクワール麴町において、JPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2019が開催された。今回のテーマは「DO MY BEST "10. 70. 30"」小屋敷淳子企画実行委員の司会のもと、山本信夫会長、近藤由利子日本女性薬剤師連盟会長、とかしきなおみ衆議院議員から挨拶があった。とかしき議員からは、国は女性議員を必要としている、女性の力で本田あきこ副会長を支援していただきたい、そして地方議員としても女性薬剤師にどんどん参画していただきたいと挨拶があった。

渡辺美知子総務よりオリエンテーションがあり、石井甲一副会長から「薬剤師議員の必要性」についての講演、前日2月10日の自民党の党大会において安倍総裁より公認証を受け取ったことを含めた本田あきこ副会長の挨拶の後、ブロック別に分かれスモールグループディスカッションを行った。今回の出席者は原則一年前の同フォーラムの参加者となっており、一年前のフォーラムでそれぞれが打ちたてたスローガンを目標にこの一年間の活動とその成



果、問題点の抽出を事前に報告していただき、その解決策、今後の具体的な活動について議論した。同じブロックの中でも活動が盛り上がっている支部、女性薬剤師に本田あきこの名前がまだ浸透していない支部など、差があることが明確になったが、ディスカッションは大変盛り上がった。

最後に岩本研幹事長による総評、安東哲也副会長の引き続きの支援を呼びかける閉会の辞により閉会となった。

選挙yearといわれる本年、統一地方選挙、参議院選挙とそれぞれの地域において都道府県薬連盟、更には日薬連盟と連携して強固な連盟活動が必要とされる。

もどめき便り

第198回通常国会開会

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき

第198回通常国会は1月28日に召集され、同日に衆参の本会議にて安倍首相の施政方針演説等政府4演説を行い、150日間に及ぶ論戦の火蓋が切られました。本会議での各党代表質問に続いて、衆参の予算委員会において平成30年度第2次補正予算案の審議が行われ、2月7日に可決成立しました。野党は、国の基幹統計の一つである厚労省の毎月勤労統計調査の不適正な実施により、雇用保険、労災保険等の支給に不足が生じた問題を取り上げ、これに対する政府の責任を厳しく追及する姿勢を示しており、開会冒頭から緊迫した状況となっています。

厚生労働省は、今国会に5本の法律案の提出を予定しています。

健康保険法及び国民健康保険法等の改正法案は、被保険者記号・番号を現行の世帯単位から個人単位毎に定め、保険医療機関での被保険者の資格確認に個人番号カードによるオンラインシステムを導入する。医療機関・薬局でのオンライン資格認証導入の初期経費を補助するため「医療情報化支援基金」創設する。国が保有する、医療保険レセプト情報データベース(NDB)と介護保険レセプト情報データ

ベース(介護DB)について、データを連結して利用・提供できるようにする。こと等の規定を盛り込み、医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るとしています。なお、この法案に規定する基金の創設に関しては、消費税財源を活用した300億円を来年度予算案に計上していることから、本法案は他の法案より優先して審議入りすることとなります。

薬機法等の改正法案は、昨年末の医薬品医療機器制度部会の検討結果報告書の内容を踏まえ、優れた医薬品等を迅速に提供するための審査制度を法制化すること、患者が住み慣れた地域で安心して治療を受けられるよう、薬剤師が調剤時に限らず、継続的に服薬状況把握や服薬指導することを義務とすること等が予定されています。

統計調査問題に係わる国会審議への影響は懸念されますが、来年度予算の早期成立や国会提出法案の迅速な審議に努めて参りたいと思います。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp